

写真できり見たことの無い私のお母さまへ

「その体で出産は無理です」

「頑張りますので何とかこの子を産ませてください」

医師との間で何度か同じやり取りがあり、ご自分の命と引き替えに私を産んでくださったと聞いていた写真できり見たことのない私のお母さま。

お母さまの何倍も生き長らえて、私も後数カ月で八十歳になります。

寂しい日も：嬉しい日も：悲しい日もありました。でもお母さまから頂いた命を大切に今日迄生きてまいりました。

今はもったいない程優しい私のだんなさまと仲良く穏やかに毎日暮らしておりますのでどうぞご安心くださいませ。

もうそんなに遠くないうちに、お母さまのお側に行ける日が来ると思いますが、その時は私の顔を見て、たくさん抱きしめてくださいませね。それだけをずっと今まで思い続けております。

お父さまは、お母さまがそちらに行ってから十年後にお母さまのお側に行ってしまいました。私が寂しがらないようにそれはそれは可愛がってくださいましたし、読み切れないほどたくさんのご本を買ってってくださいました。

今でも「クスクス」と思い出し笑いをしてしまうのは「トムソーヤの冒険」「ファール昆虫記」など男の子が好きそうなご本ばかりでした。私女の子なのに…

でもお母さまの分まで優しくしていただきましたこと忘れていません。とても幸せでした。

今度はお父さまにもお手紙書きますネ。

毎晩寝る前に手を合わせお二人に「おやすみなさいませ」と言っているの聞こえてましたか。

私がそちらに行きましたら、先ほどお願いしたこと。きっと叶えてくださいませネ。

「顔を見てたくさん沢山抱きしめて…」

それでは、また。